

平成 18 年 2 月期
決算説明会

平成 18 年 4 月 21 日

株式会社サンワドー

<http://www.sanwado.com>

平成 18 年 2 月期の総括

当期は、地域経済の回復立ち遅れと天候不順の影響で、上期の業績は落込みましたが、9月度以降の追い上げにより通期では当初予算を確保し、6年振りで減収に歯止めをかけることができました。

柏店の通年効果もあって、園芸部門と大工部門(資材含む)は2桁の伸びを見せ、業務スーパーを柱とする食品部門も堅調に推移しました。また、子会社ワールドジャンボ(イエローハットFC店を青森県内で展開)が平成17年9月、八戸市内に2ヵ店出店したことも売上に寄与しました。

一方、当期の最重要課題であった粗利率に関しては、0.8ポイント改善することができました。この結果、経費の削減とも相俟って、129百万円の当期純利益を計上することができました(前期は51百万円の当期純損失)。

平成18年2月期損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	当期 (18年2月期)	前期 (17年2月期)	前期比	備考
売上高	30,934	30,717	100.7%	園芸 127%、DIY110%、食品 106%、子会社ワールドジャンボ 114%
売上総利益	6,636	6,358	104.4%	粗利率 0.8 ポイント改善
販管費	6,366	6,268	101.6%	人件費 26、不動産賃借料 37、ポイントカード引当金繰入 42
営業利益	269	89	300.8%	
経常利益	249	101	245.9%	ROA 1.3%
当期純利益	129	51	-	ROE 2.9%

(注1) ROA = 経常利益 ÷ 総資産

(注2) ROE = 当期利益 ÷ 自己資本

平成18年2月期要約貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産の部				負債/資本の部			
	当期 (18年2月期)	前期 (17年2月期)	前期比		当期 (18年2月期)	前期 (17年2月期)	前期比
流動資産	6,539	6,488	100.8%	流動負債	10,398	10,245	101.5%
棚卸資産	5,061	5,111	99.0%	短期借入金	3,050	3,430	88.9%
				一年以内返済予定 長期借入金	2,008	2,161	92.9%
固定資産	12,737	13,073	97.4%	一年以内償還予定社債	600	300	200.0%
有形固定資産	8,082	8,308	97.3%	固定負債	4,393	4,971	88.4%
無形固定資産	23	24	98.7%	社債	2,580	1,730	149.1%
投資その他の資産	4,631	4,741	97.7%	長期借入金	1,632	3,071	53.1%
				負債合計	14,791	15,216	97.2%
				資本合計	4,485	4,344	103.2%
資産合計	19,277	19,561	98.5%	負債及び資本合計	19,277	19,561	98.5%

平成18年2月期損益計算書(会社別)

(単位:百万円)

	株サンワドー			株ワールドジャンボ			三和部品株			修正		合計	
	当期 (18年2月期)	前期 (17年2月期)	前期比	当期 (18年2月期)	前期 (17年2月期)	前期比	当期 (18年2月期)	前期 (17年2月期)	前期比	当期 (18年2月期)	前期 (17年2月期)	当期 (18年2月期)	前期 (17年2月期)
売上高	29,022	29,013	100.0%	1,488	1,297	114.7%	504	487	103.4%	80	81	30,934	30,717
売上総利益	6,095	5,875	103.7%	455	396	115.1%	86	86	100.2%	1		6,636	6,358
販管費	5,910	5,864	100.8%	427	376	113.3%	77	72	105.9%	48	46	6,366	6,268
営業利益	184	10	1,749.6%	28	19	149.6%	9	13	69.0%	47	46	269	89
経常利益	210	70	299.5%	31	18	173.2%	9	14	70.6%	2	1	249	101
当期純利益	107	69	-	16	10	157.4%	6	8	73.6%	2	1	129	51

キャッシュ・フローの状況 (連結)

(単位:百万円)

	当 期 (18年2月期)	前 期 (17年2月期)	前期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	862	344	1,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	129	168	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	881	642	1,524
現金及び現金同等物の増減額	110	466	356
現金及び現金同等物期首残高	746	279	466
現金及び現金同等物期末残高	856	746	110

連結 部門別売上高

(単位:百万円)

	15年2月期	増減比	16年2月期	増減比	17年2月期	増減比	18年2月期	増減比
リビング	11,107	7.6%	9,813	11.6%	8,766	10.7%	8,319	5.1%
カー・レジャー	5,814	5.6%	5,179	10.9%	4,740	8.5%	4,792	1.1%
ペット&グリーン	3,981	1.1%	3,716	6.7%	3,798	2.2%	4,301	13.3%
食品	2,144	6.7%	2,574	20.1%	3,853	49.7%	4,088	6.1%
家電	4,285	13.0%	3,398	20.7%	3,068	9.7%	3,106	1.2%
ブランド	3,707	0.5%	3,565	3.8%	2,969	16.7%	2,716	8.5%
DIY	1,745	8.4%	1,828	4.8%	2,091	14.4%	2,304	10.2%
その他	1,658	4.7%	1,625	2.0%	1,432	11.8%	1,309	8.6%
合計	34,440	6.3%	31,697	8.0%	30,717	3.1%	30,934	0.7%

連結 部門別売上高構成表



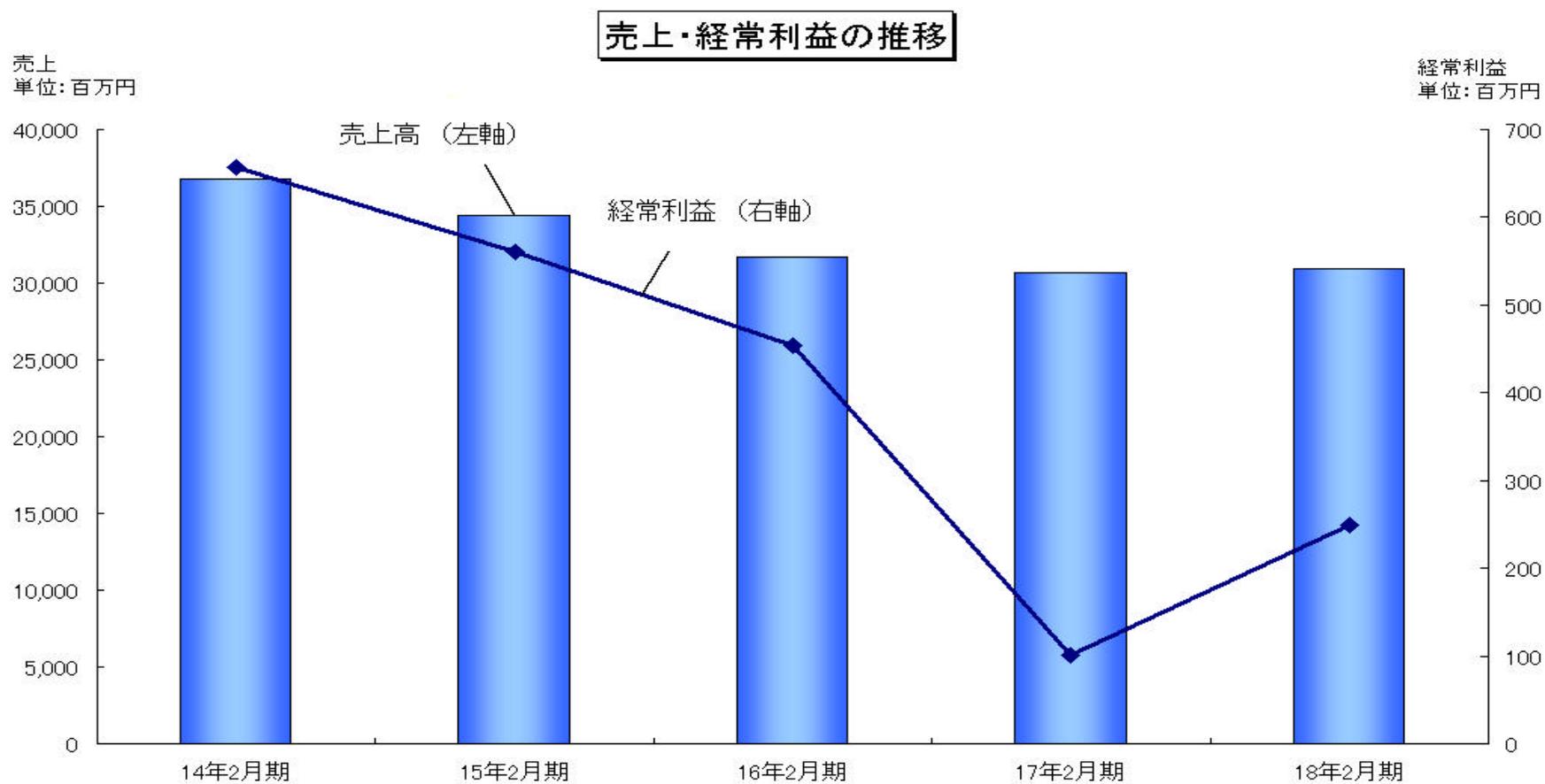
部門の構成内容は次のとおりであります。

- (1) リビング (日用雑貨、季節・催事用品、家庭用品、衣料・服飾、文具、インテリア、シューズ、玩具、ファミコン、100円ショップ、酒、たばこ)
- (2) カー・レジャー (カー用品、釣り用品、スポーツ・レジャー・自転車)
- (3) ペット&グリーン (園芸用品、ペット用品)
- (4) DIY (大工・エクステリア用品、リフォーム)
- (5) その他 (テナント、卸売)

18年2月期 売上・経常利益の推移（連結）

（単位：百万円）

	14年2月期	15年2月期	16年2月期	17年2月期	18年2月期
売上	36,761	34,440	31,697	30,717	30,934
経常利益	657	560	453	101	249



平成 19 年 2 月期の展望

平成 18 年 10 月 1 日は当社の創業 40 周年にあたります。これを機に地域で最も信頼され・支持される店づくりによって増収・増益を実現し、厳しい競争にうち勝ちます。

{ 当期の重点課題 }

売上の増加 単体売上 10 億円増収

春 : 業務スーパー開店 (下田店に併設)

夏 : 八食店の増床 (1,800 坪を 2,800 坪に増床し、資材部門強化)

秋 : 弘前市内に 2,500 坪 (うち屋外売場 500 坪) の大型店開店

粗利率の改善 単体粗利率 1.0% 引上げ

仕入から販売まで粗利改善のための総合対策をさらに促進

(値入率改善、定番商品の入替え、売価変更の圧縮等)

19年2月期業績予想

(単位:百万円)

	連 結				単 体			
	18年2月期		19年2月期 予想		18年2月期		19年2月期 予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	30,934	100.7%	32,200	104.1%	29,022	100.0%	30,000	103.4%
売上総利益	6,636	104.4%	7,228	108.9%	6,095	103.7%	6,600	108.3%
販管費	6,366	101.6%	6,778	106.5%	5,910	100.8%	6,200	104.9%
営業利益	269	300.8%	450	166.8%	184	1749.6%	400	217.0%
経常利益	249	245.9%	450	180.3%	210	299.5%	400	189.9%
当期純利益	129	-	200	154.9%	107	-	170	157.7%

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。